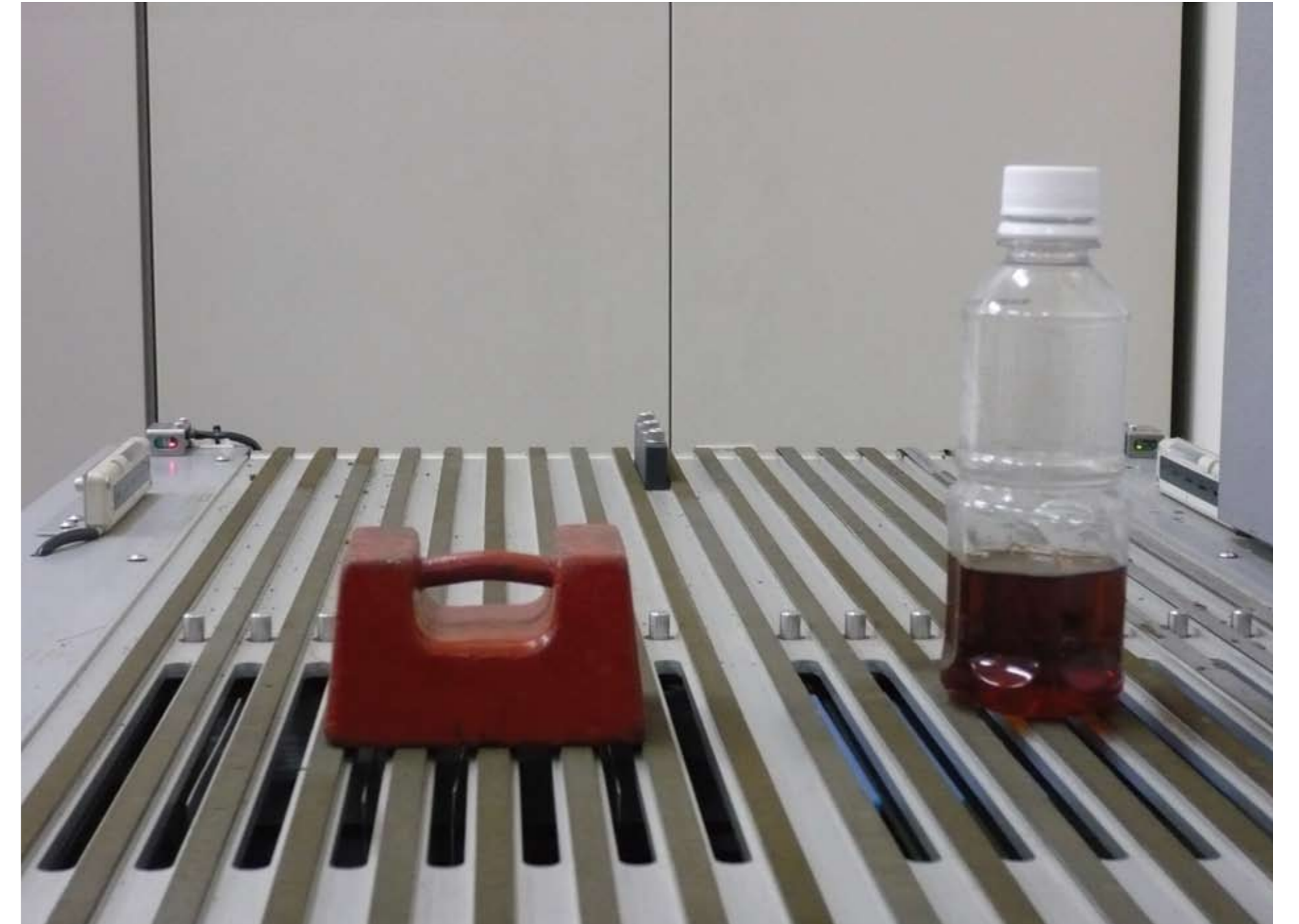


### 知恵の使いどころ

大学の専門家として超電導推進船ヤマトIの開発に携わっていた際、激しく揺れる船上において何とかして物質質量が測れないかと着想し、その後、製品化まで到達した。エコ、PL法問題解決の切り札として展開したい。



### 強み

「力」、「運動加速度」の各成分を同時的にナノ秒でセンシングし、「モデル化しない理論」を考案し、数値解析法により「質量」ことにより、薬品粉末( $\mu\text{g}$ )からトラック(40t)まで、無重力状態、高速での移動中などの条件化においても1マイクロ秒の接触により瞬時に対象物の正確な質量を算出できる技術。

### プロフィール

開発者の当社CTO多田氏は、1998年ヨーロッパでの展示会に出展。さらに、2000年～2004年の毎年、世界最大規模の産業見本市ドイツ・ハノーバーメッセに出展、高い評価を得て事業化への自信を得、2007年、同社代表取締役高崎氏とともにセンシング京都社を設立した。

### 実績・成果

中小企業基盤整備機構主催ベンチャーフェアJAPAN 2008において、参加210社の中から「イケベン(いけてるベンチャー企業)」9社に選出。2009年1月には、経済産業省「関西フロントランナー大賞2009」受賞。動的質量センサーを使った商品選別ラインが実用化された他、高速道路におけるトラック重量計測システムを開発中。「はかり技術」の21世紀標準を目指し事業を推進中。

